

201 アンジェルマン症候群

■ 基本情報

氏名			
姓(漢字)		名(漢字)	
姓(かな)		名(かな)	
住所			
郵便番号		住所	
生年月日等			
生年月日	西暦	年	月 日 性別 1. 男 2. 女
出生市区町村			
出生時氏名 (変更のある場合)	姓(漢字)	名(漢字)	
	姓(かな)	名(かな)	
家族歴			
近親者の発症者の有無	1. あり 2. なし 3. 不明 発症者続柄 1. 父 2. 母 3. 子 4. 同胞 (男性) 5. 同胞 (女性) 6. 祖父 (父方) 7. 祖母 (父方) 8. 祖父 (母方) 9. 祖母 (母方) 10. いとこ 11. その他 ()		
両親の近親結婚	1. あり 2. なし 3. 不明 詳細:		
発病時の状況			
発症年月	西暦	年 月	
社会保障			
介護認定	1. 要介護 2. 要支援 3. なし		要介護度 1 2 3 4 5
生活状況			
移動の程度	1. 歩き回るのに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 寝たきりである		
身の回りの管理	1. 洗面や着替えに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 自分でできない		
ふだんの活動	1. 問題はない 2. いくらか問題がある 3. 行うことができない		
痛み／不快感	1. ない 2. 中程度ある 3. ひどい		
不安／ふさぎ込み	1. 問題はない 2. 中程度 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる		

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

--

A. 症状

1. 容易に引き起こされる笑い	1. あり 2. なし 3. 不明
2. 失調性歩行	1. あり 2. なし 3. 不明
3. 下顎突出を含む特徴的な顔貌	1. あり 2. なし 3. 不明
4. 精神発達遅滞	1. あり 2. なし 3. 不明
5. てんかん発作	1. あり 2. なし 3. 不明

B. 遺伝学的検査

遺伝学的検査の実施	1. 実施 2. 非実施
実施した場合、異常がある項目に☑を記入する	
☐ 第 15 番染色体の 15q11. 2-15q11. 3 領域に欠失 ☐ 第 15 番染色体の 15q11. 2-15q11. 3 領域に片親性ダイソミー・インプリンティング異常 ☐ UBE3A 遺伝子の変異	
備考 ()	

※その他の遺伝学的検査を実施した場合や詳細な所見の記載が必要な場合には備考欄に記入する

＜診断のカテゴリー＞（該当する項目に☑を記入する）

☐確定診断：第 15 番染色体の 15q11.2-15q11.3 領域に欠失・母性片親性ダイソミー・インプリンティング異常のいずれかを認める

☐確定診断：原因遺伝子（UBE3A 遺伝子等）に変異を認め、A. 症状 3. および 4. を伴う

■ 重症度分類に関する事項（該当する項目に☑を記入する）

1. 小児例（18 才未満） *小児慢性特定疾病の状態の程度に準ずる

☐基準(ア) 症状として、けいれん発作、意識障害、体温調節異常、骨折又は脱臼のうち一つ以上続く場合であること

☐基準(イ) 治療で呼吸管理（人工呼吸器、気管切開術後、経鼻エアウェイ等の処置を必要とするものをいう。）、酸素療法又は胃管、胃瘻、中心静脈栄養等による栄養のうち一つ以上を行う場合であること

2. 成人例

1) 難治性てんかん

主な抗てんかん薬 2～3 種類以上の単剤あるいは多剤併用で、かつ十分量で、2 年以上治療しても、発作が 1 年以上抑制されず日常生活に支障をきたす状態（日本神経学会による定義）

1. 該当 2. 非該当 3. 不明

2)呼吸・栄養

以下の状態に該当する

1. 該当 2. 非該当 3. 不明

☐気管切開 ☐非経口的栄養摂取（経管栄養、中心静脈栄養など） ☐人工呼吸器使用

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）

使用の有無

1.あり

開始時期

西暦

年

月

離脱の見込み

1.あり 2.なし

種類

1.気管切開口を介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器

施行状況

1.間欠的施行 2.夜間に継続的に施行 3.一日中施行 4.現在は未施行

生活状況

食事

☐自立 ☐部分介助 ☐全介助

車椅子とベッド間の移動

☐自立 ☐軽度介助 ☐部分介助 ☐全介助

整容

☐自立 ☐部分介助/不可能

トイレ動作

☐自立 ☐部分介助 ☐全介助

入浴

☐自立 ☐部分介助/不可能

歩行

☐自立 ☐軽度介助 ☐部分介助 ☐全介助

階段昇降

☐自立 ☐部分介助 ☐不能

着替え

☐自立 ☐部分介助 ☐全介助

排便コントロール

☐自立 ☐部分介助 ☐全介助

排尿コントロール

☐自立 ☐部分介助 ☐全介助

医療機関名

指定医番号

医療機関所在地

電話番号

()

医師の氏名

印

記載年月日：平成 年 月 日

※自筆または押印のこと

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。（ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。）
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 ヶ月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」（平成 27 年 5 月 13 日健発 0513 第 1 号健康局長通知）を参照の上、ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。